

明中瓦版

令和7年4月号

小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校
校長 堤 周作



『得意なもの』を見つける旅

今年度より明治池中学校校長として赴任しました 堤 周作と申します。明中(彩和学園)は、小金台小と保護者、地域の皆様が一体となる小中一貫校で、生徒主体の活動に力を入れ、他校が見本とする中学校であり、期待と楽しみで一杯です。特に地域の皆様の熱い応援は他校にはないものです。早く生徒たちを知り、成長を支え、保護者の皆様とお子様の成長を喜びあいたいと考えています。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

4日(金)に入学式、8日(火)には始業式・赴任式・対面式を行いました。新たに71名の新入生(38期生)を迎え、総勢238名の明中生の船出です。入学式の式辞で話した内容を要約・一部加筆して紹介します。“中学校3年間で、自分の『得意なもの』を見つけていこう!”

新入生のみなさん、中学校はたった三年間です。けれどこの三年間は、あなたの進む道「進路」を決める大切な三年間です。この三年間で、自分の『得意なもの』に気付き、それを伸ばし、将来の仕事や夢に近づく場所はどこなのかを見つけていくことになります。では、『得意なもの』とは何なのか。NHKの「エール」というドラマの中で、恩師から進路に悩む主人公へこのような言葉があります。「人よりほんの少し努力するのがつらくなくて、ほんの少し簡単にできること。それがお前の『得意なもの』だ。それが見つかればしがみつけ。必ず道は開く。」(←加筆)。今日から始まる、皆さんと先生たちで作る3年間のドラマを楽しみにしています。

保護者の皆様、今はこんなにかわいい子どもたち、3年後にはこんなに大きくなっていきます。中学3年間の成長は、信じられないくらい大きいです。しかし急激な成長により、子どもたちはバランスを崩す事もあります。身体は成長しても心がついていかず、不安定になることもあります。また、心の成長とともに他の人と比べるようになります。理想通りにいかない自分に、過度に落ち込むこともあります。時に悲しんだり、人を傷つけたり、反抗的になったりすることもあります。しかし、私も中学校教育にたずさわるものからすれば、それは当たり前であり、成長に向けた1つの節目であることが経験上わかります。お子様がそのような壁にぶつかった時、保護者様と私も教職員が同じ方向でお子様を見守り、心を込めて支援していけば、語っていけば、いずれその壁を乗り越えて、成長していくに違いありません。教職員が一丸となって、大切なお子様に寄り添い、学びを支援し、保護者の皆様と一緒に、お子様の成長を喜んでいきたいです。

【保護者様へ】

本日の始業式、親しい友だちとクラスが離れたり、先生と別れたりして、寂しく不安な生徒もいると思います。しかし、新たな出会いがなければ人は成長しません。全ての生徒の不安解消に向け、安心で居心地のいい学級・学年・学校となるよう、教職員一同、全力を尽くしてまいります。ご家庭におかれましても、お子様が、心機一転新たな気持ちで、勉強や友だちづくりにがんばるよう、励ましをお願い致します。